

焼津体育館再整備検討委員会 第1回会議録

- 1 日 時 令和元年6月27日（木） 10:00～10:40
- 2 会 場 焼津市役所会議室棟205号室
- 3 出席委員 清水 栄男（元自治会連合会長）
竹内 孝一（焼津第2自治会長）
下村 勝彦（焼津市体育協会副会長・施設対策委員長）
小林 敏之（焼津市スポーツ推進委員長）
斎藤 剛 （静岡福祉大学）
大河 直子（一般公募）
- 4 事務局 見原 照久（交流推進部長）
松永 年史（スポーツ課長）
鈴木 宏尚（スポーツ交流担当係長）
杉山 透 （スポーツ交流担当）
松本 達哉（スポーツ交流担当）
- 5 次 第 (1)あいさつ
(2)自己紹介
(3)議事
①委員会設置の趣旨説明
②委員会の名称について
③代表者の選任について
④今後の日程について
⑤市民アンケートの概要説明
(4)第2回会議について
- 6 会 議 録
 - ・部長と課長より挨拶を行った。
 - ・挨拶の後、委員と事務局の自己紹介を行った。
 - ・課長の進行により、議事に入った。

（委員会設置の趣旨説明）

人口減少、少子高齢化が進む中で、これまで通り公共施設を量及び質ともに維持していく

ことは困難であり、人口に応じた最適化を図ることが求められている。焼津市公共施設マネジメントでは市内公共施設を現状より18%削減することを目標としている。当初、平成30年度末をもって焼津体育館の閉鎖を予定していたが、利用状況や廃止した際のリスクを検討した結果、新施設を整備することが方針決定された。

透明で開かれた市政を図るべく、施設整備や計画を策定する際は、アンケート調査やパブリックコメントを実施することが求められている。今回、焼津体育館再整備プランを策定するにあたり、市民アンケート調査を実施し、検討委員会にて意見集約及び検討していただき当該プランへ反映させていく。

(委員会の名称について)

「(仮称) 焼津体育館再整備検討委員会」を「焼津体育館再整備検討委員会」にすることを全会一致で決定した。

(代表者の選任について)

互選の結果、清水栄男氏が検討委員会の代表者に決定された。

(今後の日程について)

今後のスケジュールについて説明した。ただし、あくまで案のため、進捗状況によって変更されることがあることを伝えた。

- ・ 7月 アンケート調査の実施
- ・ 8月 コンサルタント会社の決定
アンケート調査の集計及びデータ作成依頼
- ・ 9月 第2回会議の開催
- ・ 10月 提言書（案）の作成
- ・ 11月 第3回会議の開催
- ・ 12月 提言書の提出
- ・ 2月 第4回会議の開催
- ・ 3月 再整備プランの完成

(市民アンケートの概要説明)

7月1日（月）から7月31日（水）の一ヶ月間、アンケート調査を実施する。市内の体育館（3ヶ所）と公民館（9ヶ所）に回収箱を設置する。

社会体育施設利用団体、焼津市体育協会加盟競技団体、焼津市スポーツ少年団加盟団体及び市内各自治会体育委員会の合計685団体にアンケート依頼を郵送する。また、市ホームページよりアンケート用紙をダウンロード可能とし、広報やいづ7月号にて焼津体育館再整備に関するアンケート実施についてお知らせする。

7 質疑応答

質問 1 公共施設の18%削減という目標があるにも関わらず、なぜ新体育館を建設するのか。

回答 1 現在、焼津体育館の利用率は90%以上ある。また、第6次総合計画にもスポーツの振興が施策として掲げられており、その目標達成に向けて事業を進めるために必要な施設であるため、再整備する方針とした。

質問 2 アンケート調査の対象が体育施設を利用する人に限られていると思われる。普段利用しない人にもアンケートを実施した方がいいのではないか。例えば、市内小・中学校を通じて保護者向けに実施するのはどうか。

回答 2 「広報やいつ」及び市ホームページでアンケート調査についてお知らせし、基本的には全市民を対象としているが、回答率の向上を図るため、施設利用団体等に直接通知した。

質問 3 アンケート調査で挙げた意見をすべて提言書に入れることは無理ではないか。

回答 3 現段階ではどの程度の意見及び要望が挙がるか不明である。検討委員会の中で審議していただきたい。

質問 4 第2回会議の場でアンケート結果に対する意見を求められても回答が難しい。事前に情報がほしい。

回答 4 結果が集計でき次第、事前にお送りした上で会議を開きたい。